



第Ⅵ章

経営基本方針

ページの構成

経営基本方針では、基本方針ごとのめざす姿や現状と課題、指標などを示しています。各項目の内容については、次のとおりです。





\ 基本方針 /

1

共創※で新たな価値を 創造する



多様な主体との連携を推進することにより、地域の活性化やまちづくりを効果的に推進します。

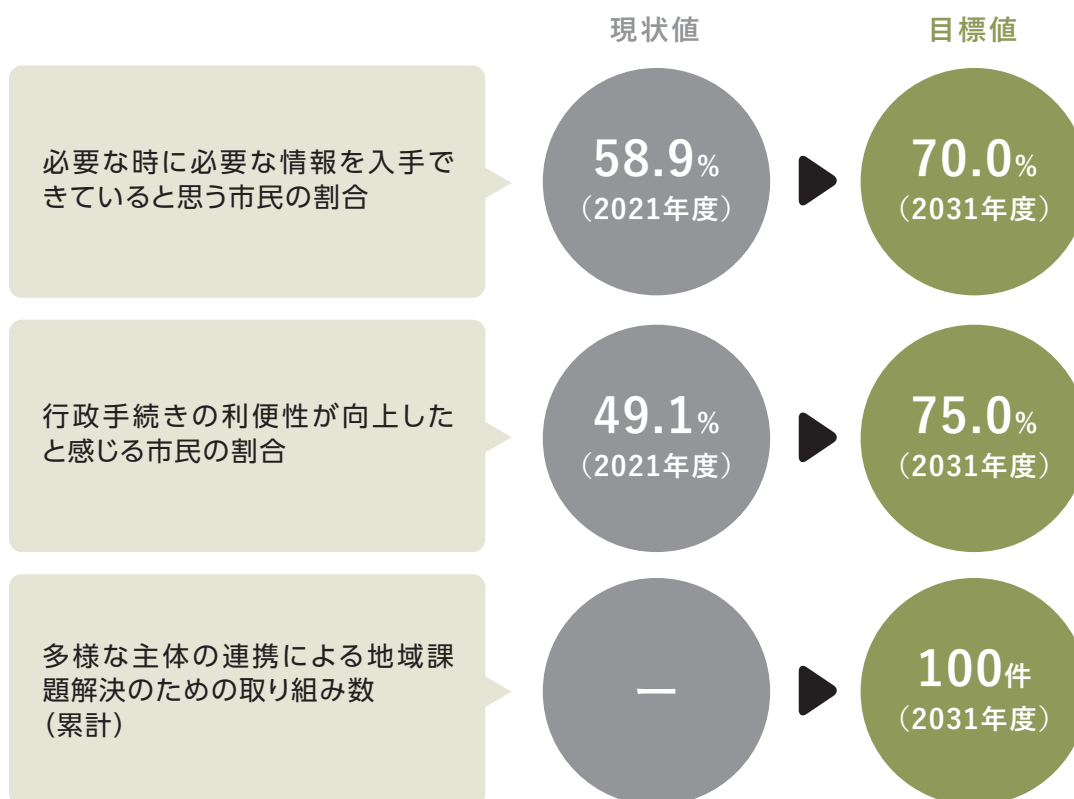
また、情報の発信と共有を積極的に行うとともに、市民ニーズを的確に把握し、市民の声を施策へ反映します。市民の理解と共感を得ながら、共にまちづくりに挑戦する「共創のまちづくり」を進めます。

共創で新たな価値を 創造する

めざす姿

- 市民それぞれの知りたいことが共有され、活用できる環境が整っています。
- テクノロジーを活用し、誰もが時と場所を問わず受けられる最適な行政サービスが提供されています。
- 多様な主体がアイデアを出し、地域の活性化や市の抱える課題解決に取り組んでいます。
- 自治体間の連携を強化することで、市域を越えた行政サービスが提供されています。

めざす姿の実現度を測る指標





現状と課題

- 市民ニーズを把握するため、市民から寄せられた意見や要望を分析し、改善案を検討しています。こうした改善案などを施策や事業に活用していくことが必要です。
- 世代や時間を問わず、市民が気軽に意見を発信できる機会を増やすことが必要です。
- 環境や世代により情報取得の手段が限られてしまうことのないよう、誰もが情報を発信し、受信することができる環境の整備が必要です。
- 事業の基礎となるデータベースを整備し、事業立案に活用していくことが必要です。
- 市のホームページにオープンデータカタログサイト*を立ち上げ、市民や事業者が行政データの検索や利用がしやすい環境の整備を進めています。行政データが様々な場面で利活用されるよう、コンテンツをさらに充実していくことが必要です。

- 市民の利便性を向上するため、行政サービスのデジタル化の推進が必要です。
- 市役所で行う行政手続きを、来庁せずに完結できるようにすることが求められています。
- まちだ〇ごと大作戦18-20⁺¹、地区協議会、町田市地域活動サポートオフィスなどによって、市内の地域活動が活発になっています。
- 複雑化・多様化する市民ニーズや地域課題にに応じていくためには、市民、地域団体、事業者と共に、地域の活性化や課題解決に取り組むことが必要です。
- 図書館、高齢者施設などの施設利用や証明発行サービスなどの行政サービスの相互利用を行っています。
- 今後感染症の拡大や大規模災害が発生する可能性を鑑み、被災地と支援地を結ぶ広域連携による救急など、相互に支援することが必要です。

めざす姿の実現に向けた改革項目

1 情報の双方向性を高める

必要な情報が必要とする人に適切に届くよう、広報紙やホームページ、SNSなど多様な媒体を活用して情報発信を行います。また、必要な情報が取得しやすいよう情報を整理するなど、情報のアクセス環境を強化します。

さらに、情報を発信するだけでなく、市民、地域団体、事業者などの意見を施策や事業の推進に活用します。

2 行政サービスのデジタル化を推進する

マイナンバーを活用した行政手続きのオンライン化など行政サービスのデジタル化を推進します。また、こうしたサービスを安全に安心して利用できるように個人情報の保護など情報セキュリティを強化します。

3 多様な主体との協力体制を強化する

市民や地域団体だけでなく、大学・事業者などの多様な主体と連携し、複雑化・多様化する地域課題の解決に取り組みます。また、そのための体制づくり、組織づくりを行います。

さらに、大規模災害など市単独では対応できない事態に備え、相互に助け合い支え合うことができるよう平時から自治体間の連携を強化します。

関係する町田市の主な計画

- まちだシティプロモーション基本計画22-26
- 町田市地域防災計画

- 町田市地域ホッとプラン



\ 基本方針 /

2

対話を通して 市役所能力を高める



対話を通して気づきを得ることで、職員の意識改革や業務改革を進め、市民から信頼される行政経営を行います。

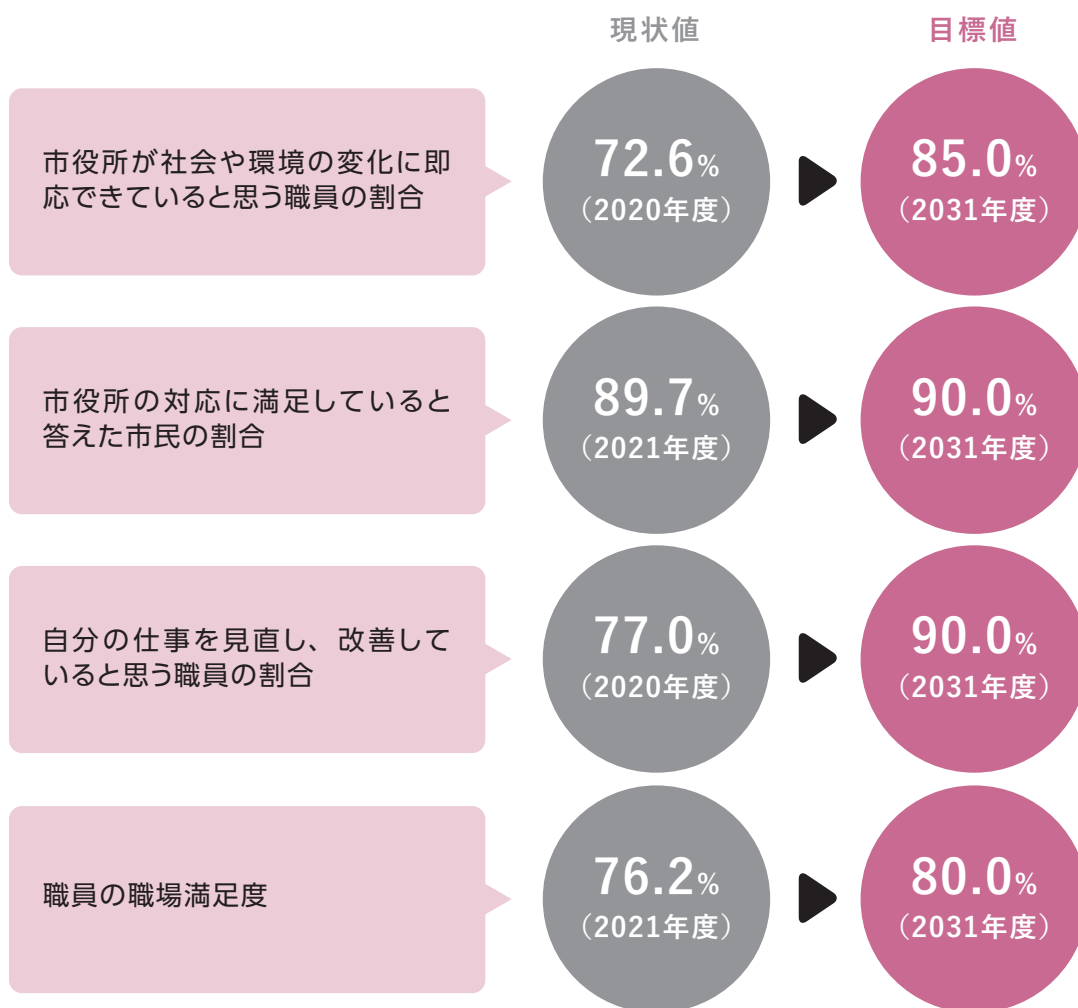
また、急速に変化する社会環境に即応するため、強くしなやかな組織づくりと、挑戦する人材の育成を行います。

対話を通して 市役所能力を高める

めざす姿

- 社会情勢や行政需要の変化に柔軟に対応できるよう、組織能力の強化に取り組んでいます。
- 市民視点を持って新たなことに挑戦する職員が育成されています。
- すべての職員が、心身ともに充実した気持ちで、やりがいを持って業務に取り組む職場環境が整備されています。

めざす姿の実現度を測る指標





現状と課題

- 感染症の拡大や大規模災害の発生など、どのような変化に際しても、市民に必要なサービスを提供できる体制を整えておく必要があります。
- デジタル技術を活用した業務の見直しを推進し、市役所の生産性を向上させる必要があります。
- デジタル技術などを活用したよりよいサービスを構築できる人材を育成・確保する必要があります。
- 複雑化・多様化する市民ニーズに応えるためには、職員の専

門性や企画力の向上に加え、組織を越えた連携が必要です。職員一人ひとりが組織横断的な連携を図り、プラットフォーム*であることを自覚し、行動することが必要です。

- 自ら考え、自ら行動する力を育てるため、職員意識の向上、組織風土の醸成、人事制度の活用に取り組む必要があります。
- 長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方（時差勤務やテレワークの活用、育児・介護と仕事の両立、休暇制度の利用の促進など）の推進が必要です。

めざす姿の実現に向けた改革項目

1 強くしなやかな組織を構築する

デジタル技術などを活用した業務の効率化や、危機管理の強化に向けた組織体制などの見直しを行い、社会環境の変化や災害などの緊急時にも即応できる組織を構築します。

2 未来を創る職員を育てる

職員一人ひとりがプラットフォームであることを自覚し、市民視点を持って自ら考え、自ら行動する人材を育成します。

また、職員の持つスキルや能力を最大限に発揮できるよう働きやすい職場環境を整備します。

関係する町田市の主な計画

- 町田市地域防災計画
- 町田市職員定数管理計画(22-26)
- 町田市特定事業主行動計画(第4次)
- 町田市新型インフルエンザ等対策行動計画
- 町田市職員人材育成基本方針(第4期)



\ 基本方針 /

3

次世代につなぐ 財政基盤を確立する



税収の減少など厳しい財政状況が予想される中でも、将来にわたって選ばれ続けるまちであるよう安定した財政基盤を確立します。

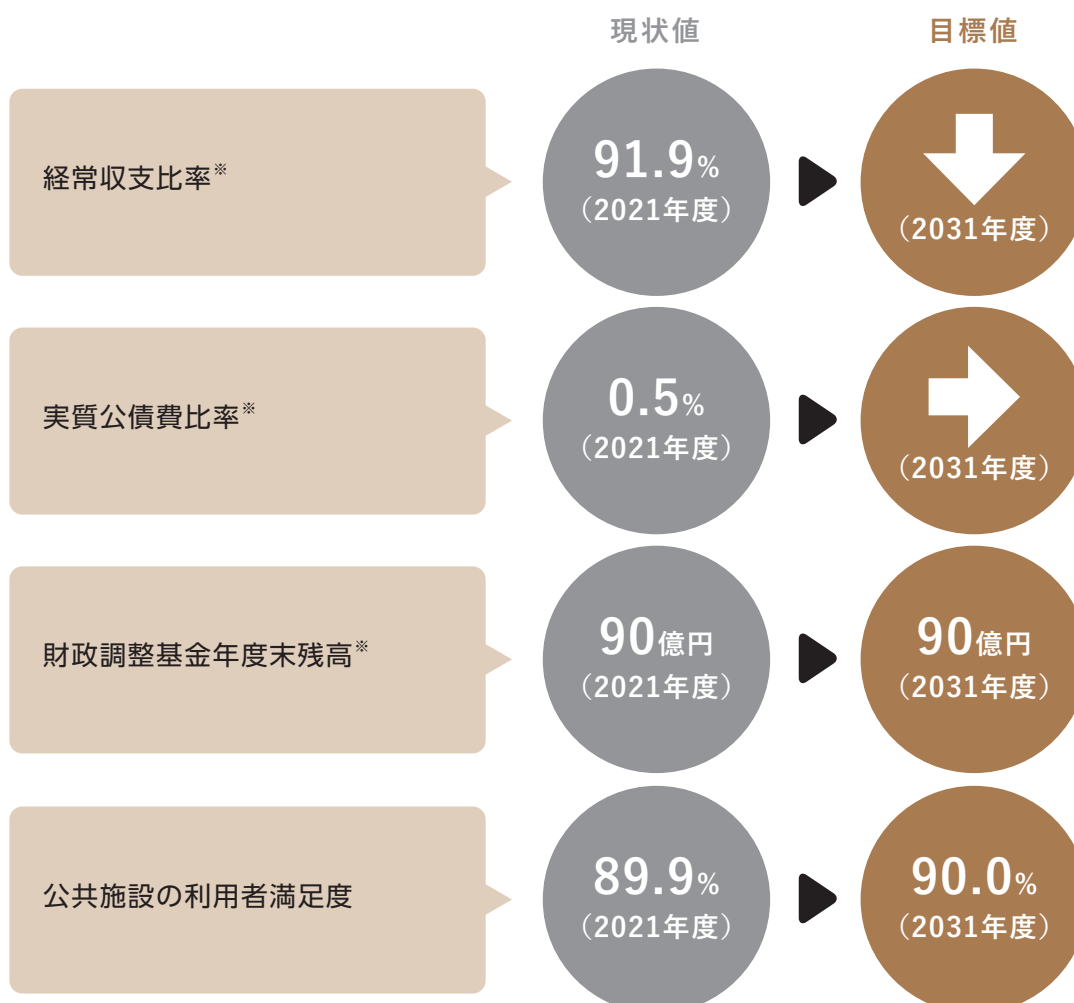
また、公共施設などを総合的に維持管理するとともに、市有財産の効率的、効果的な利活用を進めます。

次世代につなぐ 財政基盤を確立する

めざす姿

- 財務情報を資産管理や事業評価などに活用することにより、財政運営に関するマネジメント力が強化されています。
- 市の財政負担の軽減を図りながら事業を推進しています。
- 公共施設などを総合的かつ計画的に維持管理・活用しています。また、公共施設の再編を通じて「公共施設・公共空間のより良いかたち」が実現されています。

めざす姿の実現度を測る指標





現状と課題

- 生産年齢人口の減少や地域経済の縮小などにより税収の減少が予測されます。また、複雑化・多様化する市民ニーズへの対応や社会保障費の増加のため、歳出の増加が予測されます。
- 新たな財源を確保するとともに、地域経済の活性化や好循環を生み出す事業への取り組みが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気の悪化により、市税など自主財源の不足から地方交付税や市債に依存をせざるを得ず、自律的な財政運営が困難になります。
- 熱回収施設の整備や町田第一中学校の建て替えなどに伴う公債費の増大が見込まれています。

- 道路や建物などの資産、地方債*などの負債といったストック情報や、減価償却費などの現金支出を伴わない費用、人件費などを含めた事業のフルコスト情報を活用して、経営改善を図ることが必要です。
- 市から独立的に経営している町田市民病院や下水道事業の自立的経営を促すことが必要です。
- 多くの公共施設が老朽化により更新の時期を迎えつつあります。事業者などとの連携により、維持更新費の削減や適正な管理・運営を行うとともに、更なる活用を図ることが必要です。

めざす姿の実現に向けた改革項目

1 持続可能な財政基盤づくりを推進する

公会計情報などを活用し財務状況の分析を行い、市の財政や町田市民病院、下水道事業の経営改善を推進します。また、有料広告や資金運用の最適化など、新たな歳入の確保に取り組みます。

2 市有財産を利活用する

公共施設のあり方や維持管理について、市民サービスの水準や市民の満足度、コストなどを踏まえ、多角的・総合的に検討し、更新や再編を進めます。また、公共施設などを含む市有財産の利活用を進めます。

関係する町田市の主な計画

- 町田市民病院中期経営計画
- みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画
- 町田市下水道ビジョン
- 町田市新たな学校づくり推進計画